

# ヘデラ登ハンシステム 管理者向け メンテナンス手引き



壁面緑化をきれいに維持するには、メンテナンスが重要です。

メンテナンスを行わないと景観が損なわれ、その価値を低下させてしまうことがあります。

## ★ 整枝剪定・誘引結束

はみ出したつる植物は、補助資材(ツルパワーパネル)に誘引結束、もしくは剪定してください。

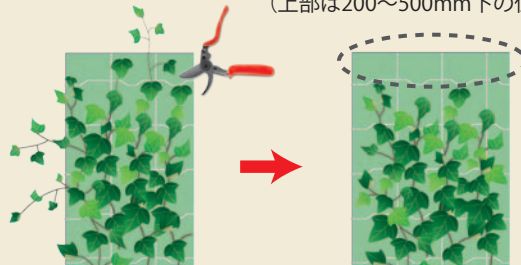
※推奨誘引結束材『ツルサポートテープ』(p15)

剪定位置:右図参照

剪定適期:盛夏(7~8月)を除いた期間

ビグノニアやカロライナジャスミンなどは、花が終わった後(5~6月)が最適です。

範囲内に納まるように剪定  
(上部は200~500mm下の位置で…)



\*つる植物は、どこで切っても通常枯れることはありません。

## 💧 自動灌水設備の点検・設定切替え

コントローラの設定切替え:

季節や植物の被覆状況に応じて灌水頻度や時間を調整。

\*年間タイマー式の場合も、植物の被覆状況に応じて灌水量を調整してください。

\*乾電池式の場合は、定期的に電池交換が必要です。

定期点検・清掃:

\*灌水チューブや配管の目詰まり・水漏れをチェック。

\*ストレーナ(フィルター)の清掃。

## 💧 散水(自動灌水を設置していない場合)

作業時間帯:早朝

作業方法:植栽部分にホースなどで十分に散水。

散水のタイミング:

\*自然地盤(地面)で降雨が当たる場所

夏季で10日以上、冬季で2週間以上降雨がない場合。

\*プランター等の人工地盤や降雨が当たらない場所  
土壌の表面が乾いたら随時。

## ★ 施肥(追肥)

肥料不足の症状:葉色が淡く、新芽の生長が鈍くなります。

施肥の最適期:春

※推奨肥料『ハイコントロール650 700タイプ』(20kg入)

施肥量:生長段階=150~200g/m

全面被覆後=50~100g/m

※土壤に攪拌するとより効果的です。

## ★ 病虫害対策(消毒)

生育環境の悪化や樹勢が衰退すると発生する場合があります。

(一般的に病虫害に強い樹種を推奨しています。)

集客施設などでは、予防措置として計画的に薬剤散布による消毒をおすすめします。

病虫害の種類や状況によっては専門業者による対処が必要です。

## ★ 除草(雑草除去)

雑草が発生した場合は、適宜除草を行なってください。(雑草の発生が著しい場合には、土壤表面にマルチングを行なうことで作業を省力化できます。)

## ★ その他留意事項

\*カロライナジャスミン等の巻つる型植物を植栽し、数年後に下部の枝葉が少なくなり枯れ上がりが目立つ場合は、剪定回数を増やしてください。

\*補助資材は、取付金具を中心に、緩みやずれ、腐食等を定期的に点検してください。(通常外れることはありません。)

\*補助資材(ツルパワーパネル)の登ハンマットは、植物が被覆せずに紫外線が当たり続けると5年程度で劣化する場合がありますので、5年以内に全面緑化されるようメンテナンス計画を立ててください。(登ハンマットは、付着型つる植物を登はらせるための仮設的な部材です。)

# 年間メンテナンスのスケジュール例

## 自然地盤(地面)に植栽した事例(降雨が当たる場合)

(設置場所の条件、樹種、被覆状況により異なります)

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
定期巡回・点検	■												適宜※1
整枝剪定・誘引						△			△			○	※1
施肥(追肥)			△										※2
除草・清掃			△			△			△			△	
病虫害対策(消毒)			△			△			△				
散水(無降雨日数が 右記の期間続いた場合)	15~20日		10~15日			7~10日			10~15日		15日 ~20日		※3

※1 壁面の高さや条件によっては、高所作業車等が必要です。

※2 施肥は、葉色が淡く、生長が鈍くなってきたときに実施してください。

※3 散水設備がない場所では、散水車やタンク等が必要です。

※ 降雨が当たらない場合は、「プランター等の人工地盤に植栽した事例」の表を参照してください。

○:実施作業

△:必要な場合のみ作業

## プランター等の人工地盤に植栽した事例

(設置場所の条件、樹種、被覆状況により異なります)

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
定期巡回・点検	■												適宜※1
整枝剪定・誘引						△			△			○	※1
施肥(追肥)			○										
除草・清掃			△			△			△			△	
病虫害対策(消毒)			△			△			△				
灌水設備の点検 コントローラ設定切替え			○			○			○			○	※4
灌水頻度(回/週)	2回		3~4回			4~7回			3~4回		2回		※5
排水溝・ドレンの 点検・清掃			○			○			○			○	

※1 壁面の高さや条件によっては、高所作業車等が必要です。

※4 ストレーナの清掃を年1~2回実施、コントローラが電池式の場合は電池交換を実施してください。

コントローラが年間タイマー式の場合も、植物の被覆状況に応じて灌水量の調整を行なってください。

寒冷地では、冬季は配管内の水を抜いておく必要があります。

※5 壁面緑化面積1㎡当たりの1回の灌水量の目安【南面・西面=2~3リットル、東面・北面=1~1.5リットル】

※ 長期管理においては、植栽基盤内の根切り及び土の入替え、灌水チューブの交換等を数年に1回実施。

○:実施作業

△:必要な場合のみ作業

上記のスケジュールは一例です。設置場所の条件、樹種に応じて検討してください。  
また植物の被覆・生育状況に応じて、メンテナンス計画は変更してください。